



香港での英語教育

香港日本人学校大埔校 竹前 良彦

香港は実はとても自然豊かな都市です。高層ビルが立ち並ぶ都市部のほとんどがすぐ近くに山がそびえているところが非常に多いです。山と海とビルと・・・香港に来ると目に入るものは大きくその3つになっています。

香港はイギリスの統治領だったこともあり、英語が公用語になっています。また、世界的な金融・商業都市であるため、世界各地から様々な人種のビジネスマンが集まっています。その子どもたちが通うために香港にはたくさんのインターナショナル校があります。私の勤務している日本人学校もその一つであり、英語では Japanese International School と呼ばれています。

私の勤務校の正式名は香港日本人学校大埔校です。大埔は香港の中でも中国の本土寄りに位置し、自然豊かな山地に囲まれています。野生のリスや猿、猪、牛が学校の近くを歩いています。

大埔校の特色は英語に特化した学校であることです。全学年、毎日1時間、英語の授業があります。英語の授業を指導するのは様々な国籍のネイティブの先生方です。習熟度別でクラスが分けられ、少人数で All English の授業が行われています。私の長男と長女も同じ学校に通っていますが、ABC もよくわからないまま香港に来てしまったので最初はずいぶん英語の授業に苦労していました。現在では道で英語で話しかけられても受け答えができるぐらいに上達しています。

他にも図工と体育の水泳の授業も現地スタッフによるイメージ教育が行われています。学校行事にも英語の活動が多く取り入れられています。10月31日は毎年盛大なハロウィンのイベントが行われます。この日は先生たちも含め、全校で仮装して登校し、一日を過ごします。また、年に1回スピーチコンテストが行われています。与えられた課題である英語の詩を感情を込め、発音を正確に朗読できるかを競っています。児童の意欲はとて高く、優勝に向け多くの子が毎年努力を重ねています。

このようにたくさんの生の英語に触れさせながら学習をしている根底には世界に通用する国際人を育てたいという学校としての理念、保護者の願いがあります。英語教育に力を入れるだけでなく、様々な教科の学習を通じて子どもたちに世界を相手に渡り合っていけるような生きる力を育んでいきたいと思ひます。



日々の英語の授業の様子です。



ハロウィン当日の校長、教頭、教務主任です。



英語スピーチコンテスト 優勝者のパフォーマンス